

令和 6 年度第 1 4 回定例会

八王子市教育委員会議事録（公開）

日	時	令和 6 年 1 2 月 1 8 日（水）	午前 9 時 3 0 分
場	所	八王子市役所 議会棟 4 階	第 3 ・ 第 4 委員会室

第14回定例会議事日程

1 日 時 令和6年12月18日（水）午前9時30分

2 場 所 八王子市役所 議会棟4階 第3・第4委員会室

3 会議に付すべき事件

第1 第43号議案 令和7年度八王子市一般会計予算（教育委員会所掌分）
の調製依頼について

第2 第44号議案 八王子市生涯学習センター条例施行規則の一部を改正
する規則設定について

第3 第45号議案 いじめ防止対策推進法第28条における調査について

4 報告事項

- ・令和6年度文部科学大臣教育者表彰の被表彰者の決定について（教職員課）
- ・「日本遺産・桑都フェスタ2025」の開催について（文化財課）
- ・令和6年度（2024年度）八王子「宇宙の学校」その他連携イベントの実
施結果について（こども科学館）

出席者

教 育 長	安 間 英 潮
教育長職務代理者	保 坂 暁 子
委 員	伊 東 哲
委 員	守 屋 香 里
委 員	田 中 雅 美

教育委員会事務局出席者

学 校 教 育 部 長	松 土 和 広
学校教育部指導担当部長	上 野 和 広
学校教育部学校施設整備担当部長	八 木 忠 史
教 育 総 務 課 長	長 井 優 治
地 域 教 育 推 進 課 長	高 橋 健 司

学 校 施 設 課 長	武 井 博 英
学 校 給 食 課 長	東 郷 信 一
教 育 指 導 課 長	古 川 洋一郎
特別支援・情報教育担当課長	遠 藤 徹 也
教 職 員 課 長	櫻 田 俊 二
統 括 指 導 主 事	狩 野 貴 紀
統 括 指 導 主 事	志 村 亮 介
統 括 指 導 主 事	福 島 裕 子
生涯学習スポーツ部長	平 本 博 美
生涯学習スポーツ部スポーツ担当部長	佐 藤 晴 久
日本遺産推進担当課長	塩 澤 宏 幸
生涯学習政策課長	田 島 裕 子
放課後児童支援課長	倉 田 直 子
スポーツ振興課長	吉 森 研 吾
スポーツ施設管理課長	佐 取 久 満
学 習 支 援 課 長	松 井 洋 一
文 化 財 課 長	叶 清
こ ども 科 学 館 長	飯 塚 由 則
図書館課長兼八王子市図書館長	堀 内 栄 史
図書館分館担当課長	鈴 木 秀 吾
教育指導課指導主事	山 崎 晃 司
教育指導課指導主事	上 田 隆 司
教 職 員 課 主 査	石 渡 正 起
学 習 支 援 課 主 査	大 関 亮
文 化 財 課 主 査	平 井 健太郎
こ ども 科 学 館 主 査	清 水 雅 生
教育総務課主査	堀 口 慎 矢
教育総務課主任	田 中 美 緒
教育総務課主事	手 塚 早 紀

【午前 9 時 3 0 分開会】

○安間教育長 大変お待たせをいたしました。本日の出席は 5 名でございますので、本日の委員会は有効に成立いたしました。

これより令和 6 年度第 1 4 回定例会を開会いたします。

初めに、本日の議事録署名委員の指名をいたします。本日の議事録署名委員は、保坂暁子委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

本市では、地球温暖化対策、省資源対策の一環として節電等に取り組んでおります。本定例会におきましても、照明の一部消灯を実施いたしておりますので、御理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

本日の議事でございますが、第 4 3 号議案については、いまだ意思形成過程のため、第 4 5 号議案については審議内容が個人情報に及ぶため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 4 条第 7 項及び第 8 項の規定により、非公開といたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 御異議ないものと認めます。

それでは、議事を進行いたします。

-----◇-----
○安間教育長 日程第 2 第 4 4 号議案 八王子市生涯学習センター条例施行規則の一部を改正する規則設定について、を議題に供します。

本案について、学習支援課から説明願います。

○松井学習支援課長 それでは、第 4 4 号議案八王子市生涯学習センター条例施行規則の一部を改正する規則設定について御説明いたします。

説明につきましては、大関主査よりいたします。

○大関学習支援課主査 それでは御説明いたします。

今回の改正内容ですが、生涯学習センター川口分館の和室及び保育室の廃止に伴い、生涯学習センター条例施行規則の一部を改正するものとなります。改正の内容としましては、新旧対照表のとおり、川口分館の和室及び保育室の廃止に伴う文言の修正となります。

お手元の資料をめくっていただき、3 枚目の議案関連資料を御覧ください。

和室及び保育室廃止の理由につきましては、第11回教育定例会で条例改正についての議案を上程しているため、繰り返しの御説明とはなりますが、子ども家庭支援センターが所管する「親子つどいの広場檜原」の移転に伴うものとなります。現在、民間施設を借り上げて運営しております「親子つどいの広場檜原」ですが、令和7年4月に現在改修工事を行っている、川口やまゆり館内への移転が予定されております。移転先は、川口分館内の和室及び会議室を改修したスペースとなり、広場には赤ちゃん・ふらっとが設置されるなど、地域の子育て支援機能の充実だけではなく、館内利用者の利便性の向上にもつながる移転となっております。

なお、和室及び保育室が廃止されることにより、川口分館においては、一部の利用者の活動場所がなくなることとなりますが、同じフロアに併設されております川口市民センターに和室や軽運動が可能な部屋があり、代替施設となり得ることから利用者への影響は限定的なものであると考えております。

また、代替施設となる川口市民センターの和室ですが、令和5年度の利用率は10から20%程度となっており、特に予約の取りづらい部屋ではないことから川口分館の和室及び保育室を継続的に御利用いただいている4団体の方にも和室及び保育室が今後廃止となっても、団体の活動に特段の支障はないとの声をいただいているところでございます。

私からの説明は以上です。

○安間教育長 只今、説明は終わりました。

本案について、御質疑、御要望等はございませんか。

既に決定した中身の文言の問題ですね。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 それでは、御意見をいただきたいと思いますが、これもよろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 それでは、お諮りをいたします。

只今議題となっております第44号議案については、提案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 御異議ないものと認めます。

よって、第４４号議案については、そのように決定することにいたしました。

-----◇-----

○安間教育長 続いて、報告事項となります。

教職員課から報告願います。

○櫻田教職員課長 令和６年度文部科学大臣教育者表彰の被表彰者の決定について、担当の石渡主査より御報告いたします。

○石渡教職員課主査 それでは、御報告いたします。

去る１１月２１日、令和６年度文部科学大臣教育者表彰の被表彰者が発表されました。表彰者に決定したものは、いずみの森義務教育学校中嶋富美代統括校長です。主たる功績は、東京都の教育政策の推進と、義務教育学校の制度を生かした学校経営の推進でございます。この文部科学大臣教育者表彰は、学校教育の振興に関し、特に功績顕著な教育者の功労をたたえ表彰するものであり、公立学校においては都道府県教育委員会が候補者を推薦し、文部科学大臣が決定するものでございます。

中嶋統括校長については、当初６月２２日の本市教育委員会で、令和６年度東京都教育委員会職員表彰の候補者として御承認いただき、東京都教育委員会に推薦をしたところでございます。その後、東京都教育委員会から文部科学大臣教育者表彰の候補者に推薦したいとの打診があり、今回の同彰の受彰に至ったものであります。

なお、表彰式につきましては、令和６年１１月２７日、文部科学省３階講堂で実施されております。

報告は、以上となります。

○安間教育長 只今、報告は終わりました。

本案について、御質疑、御意見、御要望等はありませんか。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 それでは報告として承らせていただきたいと思います。

-----◇-----

○安間教育長 それでは、続いて文化財課から報告願います。

○塩澤日本遺産推進担当課長　　日本遺産「桑都物語」推進協議会が年明けの1月12日と13日に開催いたしますイベント「日本遺産・桑都フェスタ2025」について、平井主査より御説明いたします。

○平井文化財課主査　　「日本遺産・桑都フェスタ2025」の開催について、文化財課より報告いたします。

本イベントは、1趣旨にございますとおり、日本遺産「桑都物語」推進協議会が主催する、「繊維」をテーマにもつ日本遺産の魅力を紹介するイベントでございます。

2内容につきまして、(2)開催日時は令和7年1月12日から13日、(3)会場は東京たま未来メッセの展示室Bで、メッセ全体の4分の1の会場を借りて実施いたします。(4)内容につきましては、市内染色事業者との協働によるオリジナルブランド「ottary (オッターリー)」の展示発表、「絹・染・織」をテーマにした4地域による連携事業の取組紹介、また「繊維」をテーマにした日本遺産の10地域及び市内事業者によるPR展示、ワークショップなどを企画しております。裏面にいきまして、このイベントにつきましては(7)にございますとおり、チラシを本日から市立小・中学校及び義務教育学校を通じて、各家庭に配布をいたしまして、若い世代の方にも御来場いただきたいと考えております。

なお、3その他でございますが、本イベントと同日程で隣の会場の展示室Aで、八王子織物工業組合による「千百年を紡ぐ八王子織物展」を開催となっております。また、(2)「二十歳を祝う会」の式典で本イベントについても周知いたしまして、御来場いただきたいと考えております。

報告は以上でございます。

○安間教育長　　只今、報告は終わりました。

本件について御質疑、御意見、御要望等はございませんか。

○守屋委員　　御説明ありがとうございます。今、小学校3年生くらいで、おそらく蚕を育てて絹にするという授業などもあるかと思うので、とても身近に感じられるので小学生・中学生にぜひ来てもらいたいというところもあるのですが、例えば、今お話の中で「二十歳を祝う会」で御案内とあったのですが、去年はメリットではないですけども、寄ってもらうと何かプレゼントのようなものがあったりしたかと思うのですが、そのようなものは何か計画というか、何かありますか。

○平井文化財課主査　　こちら、東京たま未来メッセの会場に来ていただいた方には、小さいのですが、焼き菓子的なものに「祝二十歳」というのを書いたものをプレゼントする予定でございます。

○守屋委員　　ありがとうございます。ちょっと何かあると、少し足を運んでみようという形にもなるかと思うので、ぜひよろしくをお願いします。

○安間教育長　　ほかにございましょうか。

それでは2点ほど。フォトスポットのところにも、「20歳おめでとう」とちょっと入れると、そこに寄って記念に、晴れ着で来ていらっしゃるのだから記念になるのではないかと思います。

あともう1点、あえて挑戦的なことを言うと、この桑の葉を使ったお菓子というのは、これ主催側の、協議会だから、どこか市内のお店に呼びかけたのですか。

○平井文化財課主査　　この4番の「桑の葉」を使用した食商品の販売というところのことかと思いますが、市内の事業者の方に声をかけまして、その桑の葉を使った商品、あるいはこの日本遺産のロゴマークを使っていたいただいたような、そのようなものを販売している事業者さんも呼んでおります。

○安間教育長　　分かりました。

ほかございますか。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長　　それでは、報告として承らせていただきたいと思います。

-----◇-----

○安間教育長　　続きまして、こども科学館から報告願います。

○飯塚こども科学館長　　令和6年度（2024年度）八王子「宇宙の学校」その他連携イベントの実施結果について、担当する清水主査より報告させていただきます。

○清水こども科学館主査　　それでは、御報告させていただきます。

まずはお手元に配付しておりますA3横の資料、はちおうじっ子の可能性をのぼす取組【理数教育・プログラミング教育編】を御覧ください。

最初に八王子「宇宙の学校」、その他連携イベントの八王子市全体の理数教育の中の位置づけについて御説明いたします。

こちらの体系図の中で、「宇宙の学校」は太枠で覆われた部分ですが、小学校1年生から3年生を担っております。また、連携イベントについては、左端の学校外の体験の一番下にあります、「こども科学館で行う科学イベント」に含まれるものです。参考として、体系図の下部に令和5年度の主な取組の参加者数を記載させていただきました。こども科学館以外の取組もございますが、「宇宙の学校」は小学校の低学年が対象で、学年が上がるに従い、「夏休み子どもいちょう塾」、「小学校科学教育センター」、「中学校科学教室」などが位置づけされています。

それでは、八王子「宇宙の学校」について報告させていただきます。

1ページ目を御覧ください。本事業についてですが、対象を小学2年生と3年生の児童及びその保護者としており、宇宙や科学を対象とした科学工作教室と家庭での自由研究を行っています。主催は八王子「宇宙の学校」実行委員会であり、実際の事業活動であるスクーリングはJAXA宇宙教育センターと連携しているNPO法人KU-MAが実施しています。また、八王子市内の大学等の学校と協力するとともに、特別協賛として市内にあります、株式会社スリーボンド様から活動資金を提供していただいています。今年度は、私立八王子学園と東京工業高等専門学校との2つの会場でスクーリングを、それぞれ4回ずつ開催しております。

次に2ページから4ページを御覧ください。スクーリングの内容が書かれています。小学2年生及び3年生が工作を行っているため、参加した親子の活動を支援するボランティアスタッフを必ず配置しております。今年度は実施会場である、私立八王子学園の中学生・高校生、東京工業高等専門学校の学生及び創価大学の学生が支援に当たりました。また、東京八王子プロバスクラブのメンバーもサポートスタッフとして参加しました。

実施結果ですが、2つの会場で55組ずつ、110組の募集をしたところ、応募が201組あり、当選倍率は1.83倍と、例年どおりの関心の高さが伺えました。

次に、参加者対象のアンケート結果を御覧いただきますと、「参加してよかった」という回答が90.3%と、ほとんどの親子の満足度が高いものとなっております。自由記述では、「改めて科学について親子でいろいろ話せて良かったです。コンパクトにまとめてあり、充実した実験ばかりで楽しく参加させていただきました」など、多くの感想が寄せられました。

5 ページを御覧ください。そのほか連携イベントについて報告します。

大学・高校との連携としては、東京工業高等専門学校と連携した「ワクワク研究所！鉄道とハンドスピナーの秘密！」、東京工科大学と連携した「大学生と一緒にきれいな虹色プレートを作ろう」、創価大学と連携した「こどもスペースラボ」の3つのイベントを行いました。「こどもスペースラボ」では、100キロのレゴブロックや新聞紙ドーム、ボードゲーム等で宇宙に関する体験活動の場を提供させていただきました。東京工業高等専門学校と連携した「ペン立て作りワークショップ～ネジの魅力と歴史を学ぼう～」と、「ゴム鉄砲の制作」の2つのイベントについても、今年度中に実施を予定しているところであります。

次に、市民団体との連携としては、八王子・日野カワセミ会と連携した「鳥の紙芝居とカルタ遊び、八王子の野鳥講座とカルタ遊び」、八王子市アマチュア無線クラブと連携した「アマチュア無線体験会」の2つのイベントを行いました。「アマチュア無線体験会」については、今年度中にもう一度予定をしております。

続きまして、研究機関との連携としては、相場博明氏と連携した「君も化石博士！化石を学び発掘体験」、国立研究開発法人海洋研究開発機構 J A M S T E C と連携した「地球深部探査船「ちきゅう」と生中継！海の底を掘ってわかることって何だ？」の2つのイベントを行いました。「君も化石博士！化石を学び発掘体験」では、ハチオウジゾウ発見者の相場博明氏に協力していただき、ハチオウジゾウ発見物語の講演と、地層から採った原石の化石採集を実施しました。「地球深部探査船「ちきゅう」と生中継！海の底を掘ってわかることって何だ？」では、J A M S T E C に協力していただき、地球や掘削航海について実際に乗船中の方々とオンライントークを交えた講演を実施しました。J A X A 宇宙教育センターと協力して行う「コズミックカレッジ「真空実験で宇宙にせまろう！」」を今年度中に実施を予定しております。

次に、民間企業との連携としては、株式会社ロボット科学教育 C r e f u s 八王子校と連携した「ロボットプログラミング体験に挑戦しよう！」、高円寺工房と連携した「ドローンを飛ばそう！ドローン操縦体験会」の2つのイベントを行いました。一般財団法人照明学会と連携した「楽しく学ぶ照明教室～光の実験とオブジェ制作」も今年度中に実施を予定しているところであります。

このように各方面の方々に多大な協力をいただき、様々なイベントを実施してお

ります。

報告は以上です。

○安間教育長 只今、報告は終わりました。

本件について御質疑、御意見、御要望等はありませんか。

○伊東委員 御説明ありがとうございました。大変盛りだくさんの取組が行われておりまして、非常に魅力的なイベントが用意されているのではないかと考えております。

また、A3版の「はちおうじっ子の可能性をのぼす取組」の中で「理数教育・プログラミング教育編」という、これで本市の理数教育に対する体系的な考え方が示されていて非常に可視化されているのですが、1つ素朴な質問なのですが、1つ素朴な質問なのですが、小学生が理科を学び始めるのは3年生からですよね。それで、1・2年生の段階では生活科、これはかつての理科と社会の時間を1・2年から持って行って、今生活科という形になっているのですが、お伺いしていた内容などはかなり理科の学びと関連している部分というのがあるのですが、なぜこの「宇宙の学校」という非常に盛りだくさんなカリキュラム、カリキュラムというとな変なのですが、学びの場を、この体系図でいうと小1、小2、小3の、この位置に持って行っているのか、この辺りについて教えていただければと思います。

○飯塚こども科学館長 「宇宙の学校」ですが、こちらはJAXA宇宙教育センターの宇宙教育プログラムの1つでございます。こちらが対象としていますのが、小学校の低学年となります。教育というよりは、特に低学年、小学校1年生・2年生に関しましては宇宙に関する実験工作に触れて興味を持ってもらう、好きになってもらうという、まずその1つのきっかけで良いのかとは思っております。小学3年生ぐらいになりますと、ある程度自分で工作等もできますので、さらに学習というような要素を強めていただければと考えております。

以上です。

○伊東委員 その学年の指定については、JAXAの指定ということなのですか。

○飯塚こども科学館長 そうです。

○伊東委員 それならしょうがないですね。ありがとうございました。

○安間教育長 ほかにございましょうか。

○田中委員 御説明ありがとうございました。私も小学校1年生の娘がいるので、今後こ

のようなたくさんのイベントがあったら、ぜひ本人のやる気等を聞いてみて、参加したいと思うものがたくさんあるのですけれども、こちらのこの応募総数200組とは本当にすごいと思ったのですが、参加できなかった方への再チャンスのようなことはあるのでしょうか。また、これは小学校全校にこのようなイベントがありますよと配布をして、その応募になるのですか。どのように子どもたちは参加されているのかと思いました。

○飯塚こども科学館長 今年度は1.83倍と、とても応募者数が多かったのですが、小学校2年生であれば落選した場合、翌年度の小学校3年生に申込みいただくということはできるのですけれども、小学校3年生ですと、「宇宙の学校」に関しては申し訳ないのですけれども御参加できないということになります。また、こども科学館のほうでは、同じJAXA教育センターのプログラムであります「コズミックカレッジ」、前段で説明しました体系図の中にあります「コズミックカレッジ」は、高学年も対象としておりますので、そちらに参加していただければと思います。

小学生への周知ですが、八王子市立学校の対象学年の全小学生に参加者募集のチラシを配布し、またホームページやSNSなどでも発信をして、参加者を募っております。

○田中委員 ありがとうございます。

○守屋委員 御説明ありがとうございます。今の参加者数のところで少しかぶるところもあるかと思うのですが、先ほどの御説明の中で今年度もやはり倍率が高いというお話があったかと思います。以前はどこか100組のところを110組に少し枠を増枠したことや、あと、書いてはあったのですが、実際出席率がやはり少し、お子さんというのもあって、8割に落ちて79.3%というのは、少し多く補欠人数なども取っていたりというのがあるのかというのが1点。

あと会場ですが、やはり1・2年生は小さいので、八王子の広い中で、西八王子や狭間という形で、どちらかという会場が、協力してくださる学校さんというところもあるかと思うのですが、ニュータウンのほうなどの会場が、やはり協力してくれるところがなかなか難しいのかというところで、もう1つニュータウンのほうでも会場があると少し人数もまたできるかというように考えているのですが、何か計画などがあれば教えてください。

○飯塚こども科学館長 今年度は2会場、八王子学園と東京高専でやっています。コロナ前は3会場で 幅広くやっていた部分もあるのですが、今会場の確保や、確保してもボランティアの学生さんやボランティアをやっていただける方が少ないというような状況で、現在このような形にはなっていますが、確かにニュータウン地区は少ないという状況です。ただ、「コズミックカレッジ」に関しては、今年度の2月1日の「コズミックカレッジ」は生涯学習センター南大沢分館のほうで行いますので、ニュータウンのほうでも実施をしていくような予定で進めております。

○安間教育長 ほかにございますでしょうか。

よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 今の田中委員や守屋委員の話ともかぶるのですが、当然のことながら、メインでやっていただいている方の高齢化があって、なかなか人手が足りない状況があって、こうせざるを得ないという部分があって、我々とする200人が応募したなら200人みんな受けさせてあげたいという思いはあるのだけれども、やはりどうしてもキャパとしては無理だと。ただ、その中で、最初から1割ぐらい増して募集しておくというのは1つの手ではないかと思う。今はコロナ前の規模にもう戻したのですよね。確かにコロナがあったので規模を縮小してやったというのがあるのだけれども、そろそろその検討もしても良いのではないかと思う。さらに言うと、定員1割増しぐらいで募集しても良いのではないかと。

それと、私も挨拶に行ったりするから実感しているのですが、これはもう課長とも共有しているのだけれども、最終日の自由研究の発表会が負担になるから来られないというのがある、確かに小学校2・3年生に人前で発表させて、なおかつその中身を、みんなが聞く、というようなレベルまでやるのは、それは少々プレッシャーになってしまうのではないかと。私、挨拶の中でもよく言ったけれども、「これって何だろう」という疑問さえ思えば、小学校低学年の理数教育は完成だと思っているのです。だから、研究までレベルを上げないで、「不思議だな」と思ったことがどうだったのかを調べましたというだけの発表など、何かもう少ししやすい、とっつきやすいような中身にしても良いのではないかと思うので、その辺りは御検討ください。

大体5、6人ぐらい上乘せしても、今の状況でも大丈夫ではないかという実感を持っているので、元の規模に戻すのならそれでもいいのです。それと最終日の自由研究の発表も工夫してもらいたい。要望だけしておきます。

それでは、こども科学館の様々な取組についての報告を承らせていただきたいと思います。

-----◇-----

○安間教育長 以上で公開の審議は終わりますが、委員の方から何かございましょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安間教育長 ないようであります。

それでは、ここから非公開となりますので、大変恐縮ですが、傍聴の方々は御退席をお願いいたします。

【午前10時00分休憩】